



年頭のご挨拶



一般財団法人沖縄県社会保険協会

会長 川上 康

あけましておめでとうございます
 会員の皆様をはじめ、本誌をご愛読いただいております皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、協会事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年を振り返ってみますと、海外では、更なる紛争の拡大により国際的に緊張が高まるなか、パリオリピックの開催や米国大統領選挙など、世界が注目する様々な出来事がありました。

一方国内では、年初より能登半島地震が発生するなど、年間を通して自然災害が多く発生し、改めて社会保障の重要さを認識させられる年となりました。

本年こそは、あらゆる方面で落ち着きを取り戻すことを願うばかりでございます。

我が国では、少子高齢化が急速に進むなか、社会保障費の増大にどのように対応していくかが課題となっております。政府では、安定した財源の確保や更なる制度の充実を図るよう、様々な改革に取り組んでおります。

その様ななか、数十年ぶりの賃上げ機運の高まりや、いわゆる「年収の壁」見直しの議論が始まるなど、本年は今後の社会保障制度の在り方に影響のある年となりそうです。

私ども協会といたしましては、県内各年金事務所や全国健康保険協会沖縄支部（協会けんぽ）と連携を取りつつ、会員様に社会保障制度に関する様々な情報を「広報誌」や「ホームページ」を通して提供して参ります。

また、社会保障に関する事務講習会や各種セミナーの開催、被保険者および被扶養者に対する健康づくりや福利厚生などの各種事業を積極的に行ってまいります。

さらに、前年度は多くの会員の皆様に新たにご入会いただき協会会員数が大幅に増加しましたので、より一層会員様向けの事業を拡充してまいります。

本年も、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。